

ハードウェアスタートアップ
育成プログラム
TIB FAB Makers Challenge

応 募 要 項

2024年6月

(実施主旨)

ハードウェアスタートアップ育成プログラム「TIB FAB Makers Challenge」（以下、本プログラムという）の企画運営を行うTIB FABは、ハードウェア開発用機材と、技術やビジネス面でサポートするスタッフを備えた実証フィールドです。ものづくりスタートアップの成長支援およびネットワーク拡大の場となることで、革新的なアイデアやテクノロジーで社会を前進させる挑戦者を生み出すことを目指しています。

そこで本プログラムは、ものづくり起業の促進を図るため、ものづくりスタートアップに必要な知識や技術の習得、パートナー連携・マッチングによる実装に向けた支援を実施します。

(本プログラムの特徴)

◆ものづくり活動拠点の提供

3Dプリンターを始めとしたデジタルファブリケーション機器や回路設計から電子基板の実装まで可能な電子工作機器、金属加工も可能な工作機械、IoT機器開発に必要な電子計測器、温湿度試験等の環境試験が可能な試験設備等を実費で利用できます。（交通費・食事代等の個別の費用を除く）

◆専門知識習得のためのセミナー&ワークショップ

製品開発経験を持つ起業家等による実践的なプログラムを提供します。

◆開発のための伴走支援

技術相談やメンタリング、原理試作・量産試作の開発等、参加者の段階に合わせて支援します。

◆ものづくりコミュニティへの参加

ものづくりに欠かせない、起業家を中心とした横のつながりを構築します。

◆事業化マッチング・プロモーション機会の提供

事業化に必要なステークホルダーとのマッチングや、製品や成果の広報PRの機会を提供します。

◆成果発表会

投資家、金融機関、支援会社等の多数のステークホルダーの前でプレゼンする機会を提供します。

(本プログラムの企画・運営に関して)

本プログラムは、東京都と一般社団法人DMM.make TOKYOが連携して実施します。

1. 受講対象者

(1) 以下の要件を全て満たす個人又は法人が受講対象者となります。

・ものづくりビジネスを検討し、ハードウェアのプロダクトアイデア又は試作品を持っている

- ・応募時点で満15歳以上かつ中学校を卒業している
- ・応募者自ら又は既に参画中のチームメンバーがプロダクト開発を行う意思がある
- ・2025年2月までに試作開発を実現する意思がある
- ・プログラムに一貫して参加する意思がある

(2) 定員：30名程度

チーム参加は2名まで可能です。

2. プログラムの内容

テーマ	詳細	実施日
キックオフミーティング	キックオフミーティングの実施。 参加者・講師陣の顔合わせ、プログラムのオリエンテーション。	2024年8月24or25日 (土or日) 13：00-15：00
「ものづくりスタートアップ導入講座」 講師：関谷 達彦 メカニカル・デザインエンジニア	将来ハードウェアスタートアップ・メーカーとして事業を営むために必要となる、ものづくり全般のライフサイクルへの理解や習慣をレクチャーする。	2024年8月31日 (土) 10：30-12：30
「電子回路開発のためのハードウェア基礎知識」 講師：阿部 潔 TIB FAB技術顧問テクニカ	【座学】 トランジスタ回路の基礎、半導体データシートの見方、抵抗とコンデンサの使い方、表面実装（SMT）を手作業で行うときの基	2024年9月15日 (日) 12：00-16：30

ルアドバイザー	礎知識 【ワーク】 ブレッドボードを用いた回路実験を通して座学で学んだ知識を実際の回路に適用し、上手な部品配置を学ぶ。試作時の小型化、SMT化についても実例を見て、ブレッドボードとの違いを理解する。	
「ものづくりに必要なプログラミング講座」 講師：矢追 良太 (一社) 42Tokyo ペダゴ ジーディレクター	【座学】 ものづくりにおけるプログラミングのユースケースなどについてのレクチャー 【ワーク】 プログラミング言語Pythonを用いたワークショップ ・ Pythonの基本文法 ・ Pythonの制御構文 ・ シミュレーションソフトを活用してPythonで交通信号機を制御してみよう！ (おまけ) リアルなハードウェアをPythonで動かしてみよう！	2024年9月28日 (土) 13 : 00-16 : 30
「プロダクトの企画・開発ワークショップ-アイデア発想からマネタイズまで-」 講師：金井 隆晴 (株) ORPHE CoFounder /CPO	【座学】 FABの機材を使って試作し量産化に成功した先輩スタートアップが、自社の製品の製作過程を例に、企画～マネタイズまでレクチャーする。 【ワーク】 前半の座学を元に、チーム(個人)のアイデアをアイデアワークシートにまとめ、アイデアをブラッシュアップ ・ アイデア書き出し&共有&絞込み ・ 「サービス/ターゲット/機能的価値」 ・ 「システム/コンセプト検証/マネタイズ」 ・ 発表会/講評	2024年10月5日 (土) 10 : 30-16 : 30

「プロトタイピング体験」 講師：鈴木 亮大、鈴木 宏健、仲井 優一 TIB FABテクニカルアドバイザー	FABの機器を活用してレーザー距離計を製作し、ラビットプロトタイピングの基礎を学ぶ。 センシング、マイコン制御、半田付け、筐体の試作、組み立て、デザイン印刷までを1日で体験し、FABを使った実践的なプロトタイピング手法を身につける。	2024年10月19、20日 (土、日) 各10：30-16：30 どちらか1日程の参加となります。(参加者グループを2つに分けて2回開催します。)
「CAD、プロダクトデザイン/筐体設計」 講師：生駒 崇光 (株)ICOMA 代表取締役社長	設計や意匠デザインの基礎の座学、3DCADを用いた3Dモデリングから3Dプリンターを用いた筐体プロトタイプの実践的な手法を学ぶ。	2024年11月2日 (土) 13：00-16：30
「製品化するための製造プロセス学習」 講師：(株)浜野製作所	原理試作後、市場に製品を出すための量産前試作のプロセスや工場との協業について実例を通して学び、工場見学を通じて量産のものづくりの現場に実際に触れることで、ハードウェア開発への理解を深める。	2024年11月23日 (土) 10：30-16：30
先輩スタートアップとの交流会 ゲスト：調整中	実体験を元に、どのように事業をステップアップし、人材を集め、マネタイズしていったかなどテーマやハードシングスについて知る。 交流とスタートアップへのアドバイス会。	2024年12月14日 (土) 14：00-16：00
成果発表会 ゲスト：調整中	投資家、金融機関、支援会社等の多数のステークホルダーの前で、最終成果のプレゼンを行います。	2025年2月25、26日 (火、水) 各17：30-21：00 参加者グループを2つに分けて2日間開催します。
メンタリング メンター：プログラム講師陣	受講者のプロダクトアイデアに対して、個別にアドバイスします。 ご相談内容に合わせて事務局がメンターを選定します。	プログラム受講期間中、随時ご相談ください。

※会場はTIB FABおよびTIB内スペースを予定しています。

※プログラムの内容および日時等は予告なく変更する場合があります。

3. プログラムの受講費用

無料（飲食費、交通費、一部材料費は各自負担）

4. プログラムの対象期間

2024年8月～2025年3月末まで（予定）

5. 応募手続き

（1）応募フォーム

応募期限内に募集Webサイト（<https://tib.metro.tokyo.lg.jp/tibfab/program>）のエントリーフォームから申し込んでください。

（2）応募期限および応募方法

応募期限	2024年7月22日（月）午前9時59分まで
応募方法	●下記エントリーフォームに記入して送信してください。 https://forms.gle/kUubfbt4UzCYB2uX6
問い合わせ	（本プログラム事務局） TIB FAB Makers Challenge運営事務局 （一般社団法人DMM.make TOKYO） 担当：平林、杉野、関本 tibfab-program@dmm.com

6. 選考の方法

（1）応募内容に対して、以下の項目に基づいて選考を行い、その結果をもとにプログラム受講者を決定します。なお、選考の内容についてのお問い合わせには応じられませ

ん。また、選考委員の氏名等は公表しません。応募書類、面接での発表内容は初見の相手を想定した過不足のない表現を心がけてください。

(2) 選考結果はメールで通知します。

(3) 1次選考では、応募フォームへの記入のみで完結する書類選考を行います。

必要に応じて補足資料を提出することも可能です。

選考は全回答を総合的に評価し、全応募者の回答を相対比較して選考通過者を決定します。

またプロダクト関連の設問は、本プログラムを受講する必要性を測る内容として詳細の回答が必須の項目となります。

<回答項目>

応募フォームには下記の回答項目が用意されています。

回答欄を空欄にした状態で応募することはできません。

	回答項目
同意欄	応募要項、参加規約、プライバシーポリシーの確認と同意について
個人情報・属性関連情報	氏名
	連絡先情報
	所属・業界・職種等の属性
	本プログラム応募の経緯・目的（字数制限なし）（記述式）
	参加時の立場（個人・法人）
	（法人の場合）会社情報
	（個人の場合）SNS情報
	参加人数
以降プロダクトに関連する項目	「誰」の「何」を解決するアイデアかについて一言で簡潔に回答してください。（記述式）
	アイデアの内容を詳細に記入してください。（50字以上）（記述式）
	なぜ実現したいかを、原体験等のエピソードを交えて説明してくださ

	い。(100字以上) (記述式)
	応募者・またはチームがこれを実現できると考える思い、または具体的な根拠があれば示してください。(記述式)
	プロダクトの試作はありますか？
	(試作がある場合) どのような試作ですか？ 機能・性能・試作方法についてそれぞれ記入してください。(記述式)
	(試作がある場合) 試作の課題点は何ですか？(記述式)
	(試作がある場合) 写真や動画などの補足資料を下記指定リンク先にアップロードしてください。 保存先URL
	(試作がない場合) いつ頃までに、どのようにして試作を作ろうと考えていますか？(記述式)
	(試作がない場合) 具体的な試作イメージを補足する情報があればURLを記入してください
	いつまでにプロダクトを世に送り出そうと考えていますか？(記述式)
	プログラム終了時(2025年2月末予定の成果発表会)のプロダクトの開発段階イメージについて回答してください(複数回答可)(選択式)
	現状でわかっている有利な点や不利な点、課題等について記入してください(記述式)
	【最終質問】その他、活動の実績や意気込み、追加資料があれば記入してください(記述式)

(4) 2次選考では、オンラインでの面接による選考を行います。

面接は1次選考通過者による3分間のプレゼンテーションと質疑応答で実施します。

<選考方法>

発表時間：3分

会場：オンライン（Zoom等のオンラインミーティングツールを想定）

発表方法：画面共有によるプレゼンテーションと終了後の質疑応答

PowerPoint等のプレゼンテーションツールを使用して発表を行います、
内容やページ構成等の指定はありません。

評価項目：下記の評価項目で選考を行います。

評価項目	評価の視点
プロダクトアイデアの新規性	●現在開発している、あるいは開発しようとしている製品・サービスについて独自性や優位性、新規性が存在するか。
プロダクトアイデアの市場性	●現在開発している、あるいは開発しようとしている製品・サービスについて、ニーズを含め市場性がどの程度見込めるか。
プロダクトアイデアの妥当性	●ソリューションとしての適切さやチームとプロダクトアイデアの相性や外部環境を含めた実現性の高さ。
課題の明確性	●チームとして現在抱えている、あるいは今後発生しうる事業課題を明確化しているか。
本プログラム受講の動機・必要性・熱意	●本プログラムを受講することでどのようなことを学びたいか、プロダクト開発に生かしたいか。また、熱意をもって主体的に取り組めるか。

7. 受講者の発表

採択者に対して個別にメールで受講案内します。

8. 事後アンケートの協力

本プログラム期間中、または修了後、速やかにプログラムの受講により得られた事項や今後の改善・要望事項に関わるアンケートへの回答に協力するものとします。

9. 募集スケジュール概要

(1) 募 集 : 令和6年6月14日(金)～7月22日(月) 午前9時59分

(2) 事 前 相 談 : 下記までお問い合わせください。

(問い合わせ)

TIB FAB Makers Challenge運営事務局

担当: 平林、杉野、関本

tibfab-program@dmm.com

(3) 選 考 日 程 : 下記期間中に行います。

<1次選考(書類審査)>

選考期間: 2024年7月22日(月)～2024年7月26日(金)

結果発表: 2024年7月26日(金)～2024年7月29日(月)

<2次選考(プレゼン審査)>

選考期間: 2024年8月5日(月)～2024年8月8日(木)

この期間のうち2日間で実施予定(調整中)

結果発表: 2024年8月中旬

※採択者には8月中旬にメールにて結果をお知らせする予定です。

(4) プログラム開始: 2024年8月24日(土)または25日(日) キックオフミーティング

実施予定

10. お問い合わせ

【応募、選考方法等プログラム全般について】

TIB FAB Makers Challenge運営事務局(一般社団法人DMM.make TOKYO)

担当: 平林、杉野、関本

MAIL: tibfab-program@dmm.com